CHIBA CITY

ちば市議会だより

No.4
平成6年(1994年)4月

発行／千葉市議会
編集／千葉市議会事務局
〒260-91 千葉市中央区千葉港1-1
☎043(245)5111(代)

昭和の森（緑区）

第1回 定例会のあらまし

平成六年第一回定例会が、二月二十四日から三月二十三日までの二十八日間の日程で開かれました。

この定例会では、平成六年度各会計予算および条例の制定など六十七件の市長提出議案を審議し、すべて原案どおり可決・同意しました。

さらに、議員提出議案一件、意見書五件、陳情六件を審議したほか、各会派の代表質疑が七名の議員により行われました。

なお、平成六年度各会計予算議案については、全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、審査しました。

可決した主な議案

総額五千四百一億八千七百万円の新年度予算を可決

《予算関係》

平成六年度各会計予算

平成六年度各会計予算は、福祉、教育などのソフト面の拡充、道路、公園、下排水などの生活関連施設の整備、地域に密着した区行政の充実、地域経済の活性化と中小企業金融対策の強化などを図るため、前年度と比較して七百億百万円（十四・九%）増の総額五千四百一億八千七百万円を計上しました。このうち、一般会計歳入歳出予算については、前年度と比較して百十四億八千万円（四・〇%）増の三千十二億三千万円に、特別会計（企業会計を含む十八会計）については、五百八十五億二千百万円（三十二・四%）増の二千三百八十九億五千七百万円になりました。

平成五年度一般会計補正予算

特別養護老人ホームなどの社会福祉施設や老人保健施設の建設事業補助金など、七十六億二千五百八十万円を追加しました。これにより一般会計の予算総額は、三千九十二億四千六十八万円になりました。

平成五年度特別会計補正予算（企業会計を含む）

国民健康保険事業特別会計に療養給付費など、下水道事業会計に管渠布設費など、七事業会計合わせて二十億四千六百九十三万円を追加しました。これにより特別会計の予算総額は、一千八百六十四億六千七十万円になりました。

◆ ◆ ◆

情報公開条例を制定

《条例関係》

千葉市情報公開条例の制定

公文書の公開を請求する市民の権利を明らかにするとともに、情報公開の推進に関し必要な事項を定めるため、条例を制定します。

乳幼児の医療費の助成に関する条例の一部改正

乳幼児の入院・通院に係る医療費の助成範囲を拡大するため、条例の一部を改正します。

千葉市障害者更生相談所条例の制定

障害者の更生援護を目的とした、障害者更生相談所を美浜区高浜二丁目に設置するため条例を制定します。

千葉市水洗便所改造等資金助成条例の一部改正

水洗便所改造等資金の貸し付け限度額を引き上げるため、条例の一部を改正します。

《土地の取得》

仮称中央図書館・生涯学習推進センターの用地として、中央区弁天三丁目の土地を日本国有鉄道清算事業団から五十二億一千七百八十四万円余で取得します。

仮称千葉市少年自然の家の用地として、長生郡長柄町の土地を九億四千五百十二万円余で取得します。

《工事請負契約》

仮称新浜リサイクルセンター管理棟の新築工事を、三億八千四百十九万円で行います。

稲毛海浜公園仮称花の美術館新築工事などを二十三億四千二百二十二万円で行います。

《人事案件》

助役に、鶴岡啓一氏を選任することに同意しました。

代表質疑から

三月三日(市民自由クラブ・市政会)、四日(千葉市議会公明党・新政クラブ・日本共産党千葉市議会議員団)、七日(日本社会党千葉市議会議員団・市民ネットワーク)の三日間にわたり、七会派の代表から、平成六年度予算案などについて質疑が行われました。

市民自由クラブ

新年度予算の特徴と重点事項は

Q 新年度予算案は、伸率で四%と緊縮型であるが、一方では市域経済の活性化という面も配慮されているようである。財源的に非常に厳しい中、さらに、国の予算や地方の指針となる地方財政対策などが異例の遅れをとった中で、編成が終わった新年度予算案の特徴と、その重点事項について伺う。

A 新年度予算案は、景気と福祉に特に配慮した堅実型の予算といえる。具体的には、市民が健康で明るく生きがいに満ちた生活が送れる施策の推進、都市環境の整備と魅力ある都市づくりの推進、区行政の推進と区民意識の高揚、地域経済の活性化と中小企業金融対策の強化など四つの柱を重点的に編成したもので、財政環境の厳しいもとでの編成のため、新たな財源確保策を調ずるとともに、経費の節減合理化や財源の重点的・効率的配分に努め、市民福祉の向上と均衡ある市勢の発展に最大限の努力をしたものである。

中小企業育成の支援策は

Q 厳しい経済状況の中で、市内中小企業を振興・育成していくことは、極めて重要と思われる。とりわけ、資金調達が困難になっている中小企業に対する支援を強化することは、差し迫った課題と思うが、金融対策として、どのような支援策を講じていくのか伺う。

A 融資対策は、金融面での支援を強化するため、融資枠を七十二億円から百六十五億円に拡大し、融資限度額も、季節運転資金を二千万円に、経営安定特別資金を二千万円に引上げたほか、新製品開発促進資金(融資限度額三千万円)を創設した。また、中小企業組合事業の近代化を図るため、事業振興資金・機械類近代化資金の融資を行う。なお、不況対策として緊急経済対策資金と緊急円高対策資金の融資を引き続き実施していくが、今後とも、金融対策の充実強化を図り中小企業の振興・育成に努めていきたい。

市政会

女性行政の推進と仮称ちば女性会館の進捗状況は

Q 女性行政推進室を設置し、「ちば女性計画・ハーモニープラン」を策定し、女性行政を推進しているが、その推進状況は。また、女性の活動拠点であり、調査研究などをする場として、現在、準備が進められている仮称ちば女性会館の建設について進捗状況を伺う。

中小企業指導センター

A 啓発を目的とした各種講演会、講座の開催、情報誌の発行などを実施し、国の施策とも歩調を合わせ進めている。仮称ちば女性会館は、仮称総合福祉センターとの複合施設として建設準備を進めており、建設用地については、平成六年度に中央区の千葉寺土地区画整理事業地内の一角を取得する。施設規模については、女性会館部分は、五千㎡程度を予定しており、基本設計者の選定にあたっては、公開設計を予定している。

ハーモニー地区講演会

仮称中央図書館・生涯学習推進センターの建設は

Q 市民の求める学習情報の迅速な提供、新たな学習需要に対応できる学習事業の研究開発が必要であるとともに、施設間の連携協力などによる学習事業の体系的な実施が望まれており、本市が計画している仮称中央図書館・生涯学習推進センターの早期建設が望まれているが、建設の進捗状況を伺う。

A 建設用地については、中央区弁天三丁目の国有鉄道清算事業団所有の旧鉄道学園跡地を候補とし、取得交渉をしてきたが、交渉がまとまり、今議会に取得議案を上程した。新年度は、基本設計に向けて、公共建築物として文化価値の高い内容を目指し、そのために設計業者を選定する予定で準備を進める。できるだけ早い時期に基本設計および実施設計を経て、建設に着手したい。

千葉市議会公明党

安全で住みやすいまちづくりの推進は

Q 高齢化、立体化などのように、近年の都市構造は、必ずしもハンディキャップのある方々にとって、利用しやすく、生活しやすい場になっていない状況である。高齢者などに安全で住みやすい環境づくりのために、「福祉の街づくり環境整備指針」を早期に策定すべきと思うが、策定の時期を伺う。

A 現在、策定の準備を進めているが、まず、新年度から市の施設に適用すべく、最終的な詰めをしている。また、民間への適用は、民間の理解と協力が絶対条件であるため、時期は若干遅れるが、建築団体や障害者団体など関係団体の意見を聞いて適用していきたい。今後とも、障害者や高齢者の方々にとり住み良いまちづくりを、関係者にお願いしていきたい。

高齢者と障害者の住宅改造費助成制度について

Q 新年度予算案に、高齢者と障害者の住宅改造費助成制度を創設したことを率直に評価するが、助成費が非課税世帯には七十万円、課税世帯には三十五万円程度であることなど、必ずしも制度的に十分とはいえないところもあり、今後の制度充実について、検討すべきと思う。

A 高齢者などの住宅改造については、従来から居室など増改築・改造資金貸付制度があり、低利で資金の貸付けを行っている。この制度は、在宅福祉の一層の充実を図るために創設するもので、要援護老人や重度心身障害者などが居宅の浴室、トイレなどで被っている不便さを取り除くための改造費について、一部を助成しようとするものであり、助成額については、他都市の実績などを参考にした。制度の充実については、新制度でもあり、発足後、この制度の利用実態などを把握したうえで、その必要性を研究していきたい。

新政クラブ

高齢化社会に対応した施設整備は

Q 二十一世紀初頭には、人口の四人に一人が高齢者という超高齢化社会を迎えようとしている。核家族化、扶養意識の変化により、家庭における介護能力が低下するなど福祉需要も多様化しており、増大する高齢者の要請に適切に対応できる要援護対策が、重要な課題になっている。そこで、特別養護老人ホーム建設促進の基本的な考え方と施設整備の今後の計画について伺う。

A 特別養護老人ホームの建設は、高齢化社会に対応した要援護老人対策として、積極的に促進している施策の一つである。高齢者保健福祉計画で明らかにしたように、施設整備は在宅福祉サービスの充実と同様、本市の重要課題と認識しており、新年度は、新・増設合わせて二施設六十五床を予定している。今後とも、同計画などを踏まえ整備促進に努めたい。

職員の意識改革と組織体制は

Q 政令指定都市移行に伴い、移譲事務のほか、新たな事務が増加している中、市民の行政ニーズも複雑多様化しており、市政に対する期待も大きくなっている。的確に市民の期待にこたえるには、職員の意識改革と資質の向上を図るとともに、効率的で機能的な組織体制が必要であり、縦割り行政の弊害克服、人材の効率的活用、現場意識の高揚について見解を伺う。

A 縦割り行政の弊害克服については、今後も、効率的・効果的な総合行政の展開を図り、複雑多様化する市民ニーズに的確に対応できるよう努めたい。また、人材の効率的な活用については、業務量に見合った適正な人員配置に極力努めており、一時的に応援体制を要する場合は、部局内や全庁的に柔軟な対応に努めている。今後も引き続き職員の効率活用に努めたい。現場意識の高揚については、人事交流や職場研修を通じて高揚に努めたい。

美浜区役所

日本共産党千葉市議会議員団

生活型・福祉型の公共事業の推進について

Q 福祉の充実と景気対策を前進させるには、バブル型の公共事業の転換や見直しを図り、市立の老人ホームの建設や各区ごとに障害者の福祉作業所の設置、歩道の切下げ、公共下水道の整備など、生活型・福祉型の公共事業を推進することが必要であるとともに、公共料金の値上げについては、中止すべきと考えるが見解を伺う。

A いろいろ経済情勢が変わってきており、街づくりには、柔軟な対応が必要である。長期的な視点で考えなければならない面もあり、五か年計画や将来を脱んで、限られた財源を市民が明るく健やかに過ごせるような形で予算配分した。公共料金については、長年据え置くと見直しの際に、大幅な値上げをせざるを得なくなり、市民全体の負担の不公平を招くことになるので、中止は考えていない。

コメの安定供給について

Q 千葉市は新年度、全水田の四分の一以上の減反を決めている。これは、農業の発展と安全なコメの安定供給を望む市民の願いに反する。従って、減反計画を撤回し、整備した水田でコメが百%作れるようにすべきである。さらに、コメの輸入自由化には反対すべきであるが、答弁を求める。

A コメについては、部分解放の受入れを余儀なくされたところだが、生産調整を実施することにより完全自由化が阻止できたと聞いている。全国農業協同組合中央会などにおいても、行政と一体となって推進するよう対応に変化があったところである。本市としても従来どおり生産調整制度を十分活用した互助転作や高収益作物への転作誘導など、水田の有効利用を図るため、本事業を推進していきたい。また、コメの輸入自由化に反対することについては、今後、諸手続きがあるようなので、その動向を見守っていきたい。

日本社会党千葉市議会議員団

情報公開制度について

Q 情報公開制度には、有形情報の公開と合わせ、意思決定の経過である無形情報が大事である。意思形成過程情報を公開しないと、画能点睛を欠くことになる。無用な混乱と誤解を与えるという理由で、非公開としているが、見解を求める。また、運用基準ないしは手引きの作成には、専門家などを動員すべきと考えるがどうか。

A 非公開事項については、必要最小限の八項目に類型化している。意思形成過程情報については、適正又は適切な意思形成に資しない支障が生ずるおそれがあるものを非公開とし、全てを非公開にはしていない。運用基準や手引きについては、情報公開制度懇談会の提言を尊重し、先進団体の事例や裁判例を十分に参考として、制度の理念に沿う内容のものを作りたい。

特別養護老人ホームの整備について

Q 特別養護老人ホームは、十四施設、一千二十床が整備されているが、若葉区に七、緑区に四、花見川区に三施設あり、中央区と美浜区は皆無である。地域バランスを考慮する必要があるが、今後、どのように施設整備を考えているのか。特に、用地確保が困難な美浜区と中央区のあり方について見解を伺う。

A 入所待機者の現状から判断すると、在宅福祉の充実と合わせ特別養護老人ホームなどの施設整備が必要であると考える。新年度に、中央区に一施設を新設することとしているが、基本的には、社会福祉法人による施設整備を中心として、適正配置に考慮しながら推進したい。特に、用地の確保の困難な中央区と美浜区については、なかなか厳しい面もあり、これまでの特別養護老人ホーム建設の経緯を踏まえ、今後、検討したい。

和楽園

市民ネットワーク

生産緑地について

Q 生産緑地地区と、宅地化を選択した農地について、指定後どのような対応をし、新年度はどのようにするのか。また、宅地化を選択したが、保全する農地の追加指定を受けたい場合はどうするのか。

A 生産緑地地区については、所有者に了解を得て標識を設置し、営農支援事業の説明会を実施するとともに、営農意向や支援希望事業のアンケートを実施した。今後は、その調査結果から、暗渠排水やほ場整備、植栽・ネットの設置などの支援をしていく。また、宅地化する農地については、土地に応じた適正な開発となるように、土地区画整理事業や地区計画などの手法の活用を検討している。追加指定については、真にやむを得ない場合や、公園緑地の都市計画に適合する場合など、あくまでも例外的な措置としている。

学校の図書館運営について

Q 小・中学校の図書購入費については、学校ごとの予算配分を、どのような基準で行い、新年度は、どれくらい上乗せするのか。また、司書のいない現状で、新刊本や蔵書の買い替えなどは、どのように行っているのか。さらに、図書担当の先生の研修は、地域の図書館と連携して行うのが望ましいが、どのように行っているのか。

A 図書購入費については、学校および児童・生徒単位に応じて配分している。新年度予算では、小学校一学級につき九千九百十七円を、中学校は二万四千八百十七円を上乗せした。新刊本や蔵書の買い替えについては、図書主任が、児童・生徒の要望などを取りまとめ、購入計画を立て、順次購入している。地域図書館との連携については、市教育研究会学校図書館部会や各学校で、地域の図書館を訪問し、運営と管理あるいは利用について、研修を実施している。

市長提案説明

開会日(三月二十四日)の本会議では、松井旭市長から平成六年度予算案をはじめとする今回上程した六十三議案の提案説明と、市政運営の基本的な考え方などについて説明がありました。

提案説明の中から、新年度予算編成の考え方と予算案の概要について、要旨をご紹介します。

[平成六年度予算編成の考え方]

かつてない厳しい財政状況のもと、新年度予算の編成は、歳入確保の方策を講ずることはもとより、歳出の全てについて「最少の経費で最大の効果」の基本理念に立ち返り、財源の重点的・効率的配分に努め、市民福祉の向上と均衡ある市勢の発展を図るよう、最大限の努力をしました。

特に、市民が健康で明るく生きがいに満ちた生活が送れるよう、福祉、教育などのソフト面の施策の拡充を図るほか、大都市にふさわしい快適な生活環境を整えるために、道路、公園、下排水などの生活関連施設の整備を積極的に推進するようにしました。

また、地域に密着した区行政の一層の充実に努めるほか、景気にも配慮し、地域経済の活性化と中小企業金融対策の強化を図るようにしました。

公共料金については、市民生活への影響なども考慮し、国民健康保険料、住宅使用料など最小限の範囲内の改定にしました。

このような、新年度予算案は、引き続き低迷する経済状況下で、様々な行政需要を抱え、非常に厳しい編成作業でしたが、議会の審議や予算編成にあたっての要望、さらにはこれまで実施してきた各種のアンケート調査などにも十分配慮し、あわせて各区のバランスにも意を用い、可能な限り施策に反映するよう努めました。

[予算案の概要]

一般会計歳入歳出予算案の総額は、三千十二億三千万円と初めて三千億円を突破し、前年度に比べ四・〇%増となりました。

特別会計予算案の総額は、一千三百八十九億五千七百万円で、三十二・四%増となっています。

この結果、一般会計と十八の特別会計を合わせた予算案の総額は、五千四百一億八千七百万円となり、前年度に比べ十四・九%の伸びになりました。

一般会計の歳入は、市税収入が、固定資産税で評価替えに伴う増収が見込まれますが、景気の低迷に伴い、市民税が前年度の額を確保できない状況にあり、市税全体としても〇・六%増に留まっています。市債は、景気に配慮し公共事業の拡充を図るとともに、財源不足に対処するため、臨時的な地方債の活用を図るようにしたほか、中央区役所・美術館の建設がピークを迎えたことなどにより、十二・七%増になっています。このほか、財源の厳しい中で、可能な限り生活関連施設や都市基盤の整備を推進するため、財政調整基金からの繰入れを増額するとともに、新たに土地開発基金から借入れを行うなど繰入金の大幅な増額を図りました。

次に、一般会計の歳出は、性質別にみますと、人件費などの義務的経費は一千八十四億五千五百万円で二・〇%の増、投資的経費は九百三十六億五千万円で五・四%の増になっています。

なお、単独事業については、地域経済の活性化を図るために、普通会計ベースで十二・二%増と、積極的な計上を図りました。

また、都市づくりの積極的な推進を図るため、土地開発公社や都市整備公社の活用により、公共用地の先行取得や各種の都市整備関連事業を実施することにしました。

なお、平成六年度は、第五次五か年計画の四年次目にあたり、一千三百三十一億円を計画事業に充当した結果、計画全体の進捗率は、累計で八十六・四%の見込みになっています。

可決した意見書 (要旨)

3月23日に、議員提出議案として5件の意見書を上程し、次の3件を可決しました。可決した意見書は、国などの関係省庁に提出します。

「坂本弁護士一家の行方不明事件の早期解決を求める意見書」

坂本弁護士一家が、何者かによって拉致されるという事件が発生してから、丸4年以上が経過している。当議会は、この問題の重要性を今一度思い起こし、一家が無事救出される日まで、強い関心をもって見守ることを決意し、同時に捜査機関に対して、今後も粘り強く捜査を継続することを強く要請する。 賛成全員

「住宅・都市整備公団の賃貸住宅家賃改定に関する意見書」

住宅・都市整備公団は、平成6年度において既存賃貸住宅の家賃の改定を実施すると発表したが、この改定は、我が国の住宅政策の後退を招くことになりかねない。よって、政府は、公団の高家賃化を抑制するとともに、高齢者等への家賃の配慮をする。また、居住者の理解の得られる家賃改定ルールを検討する。さらに、安心して住み続けられる公共住宅の大量建設に努めるよう強く要請する。 賛成全員

「コメ受入の政府方針の再考を促すと共に、農業政策の充実を求める意見書」

政府は、昨年12月にコメの部分解放を認める決定をした。このことによって、わが国の今後の稲作農業は、はかり知れない打撃をこうむることは必至である。よって、政府はこのことに深く思いを致し、先のコメ受入の方針を撤回するとともに、日本農業の再建のために、本腰を入れた農業政策を確立するよう強く要請する。 賛成多数

委員会審査から

常任委員会

各委員会が三月十四日に開かれ、付託された四十五議案について審査しました。

そのほか、陳情六件を審査し、不採択三件、継続審査三件となりました。

総務委員会

（所管＝総務局、企画調整局、財政局など）

一般会計補正予算、情報公開条例の制定など、議案七件を審査し、情報公開審査会や年間の対象公文書数などについて質問がありました。

民生教育委員会

（所管＝市民生活局、教育委員会）

一般会計補正予算、仮称中央図書館・生涯学習推進センター用地の取得など、議案二十六件、陳情三件を審査し、買収土地代金の決定方法などについて質問がありました。

▼学童保育の制度化（条例制定）を求める陳情　不採択

なお、一月二十五日にも委員会が開かれ、千葉市高齢者保健福祉計画（案）について調査しました。

環境消防委員会

（所管＝環境衛生局、清掃局、消防局、水道局）

一般会計補正予算、廃棄物の適正処理及び再利用等に関する条例の一部改正など、議案六件、陳情二件を審査し、ごみ排出量の現況などについて質問がありました。

▼土気緑の森工業団地のバイオなど先端技術業務の安全性確保を求める陳情　不採択

経済建設委員会

（所管＝経済農政局、建設局など）

一般会計補正予算、農業集落排水事業特別会計補正予算など、議案三件、陳情一件を審査し、メッセ建設事業費負担金に関し、県・市の負担割合などについて質問がありました。

▼市営住宅家賃値上げ中止に関する陳情　不採択

なお、二月十六日にも委員会が開かれ、勤労者施設、いちごの水耕栽培および中央卸売市場施設などの調査や現地視察を行いました。

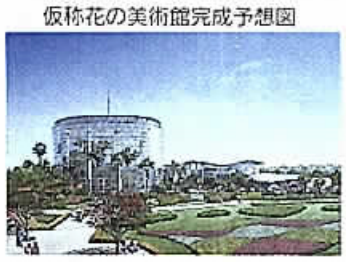
幕張メッセ

都市下水委員会

（所管＝都市局、下水道局）

下水道事業会計補正予算、稲毛海浜公園仮称花の美術館新築工事請負契約など議案九件を審査し、花の美術館に関し、駐車場や交通アクセスの問題などについて質問がありました。

仮称花の美術館完成予想図



特別委員会

廃棄物処理問題対策特別委員会

十二月二十一日に開かれ、指定袋と有料制、粗大ごみの有料化および仮称三角町清掃工場などについて調査しました。

予算審査特別委員会

平成六年度一般会計および特別会計予算議案を審査するため、三月七日に、全議員で構成する予算審査特別委員会（二分科会）を設置し、九日間にわたり審査しました。また、予算議案などに対して総括質問が、十人の議員により行われました。

委員長　松井　孝安
副委員長　佐久間勝美
第一分科会主査　内藤　靖夫
同　副主査　石橋　毅
第二分科会主査　糸日谷義男
同　副主査　萩田　章

なお、三月二十三日の本会議で、市長に対する九項目の指摘要望を含めた審査結果と概要について、予算審査特別委員会委員長報告が行われ、採決の結果、各会計の新年度予算を原案どおり可決しました。

指摘要望事項

- 市債については、後年度負担に十分留意するとともに、補助金や交付税措置などを勘案しながら発行されたい。
- 国際交流プラザの開設に当たっては、外国人や市民に十分なPRを行うほか、各種国際交流事業の積極的かつ充実した展開を図られたい。
- 次期五か年計画の策定に当たっては、各区の特性や要望を踏まえるとともに、全市的にバランスのとれたものとされたい。
- 放置自転車対策については、迷惑駐車の一掃を図ることはもとより、放置禁止についての市民意識の涵養を図るなど、なお一層解消に努められたい。
- 福祉行政については、多種多様な市民要望の円滑な推進に万全を期されたい。
- 安全な水が飲めるよう地下水の実態を調査するとともに、地下水の汚染地域については、上水道の布設など抜本的な対策を講じられたい。
- 現下の米の供給不足に対する市内消費者の不安を解消するため、引き続き関係機関への働きかけを行い、米の安定供給に努められたい。
- モノレール事業については、利用者を考慮した駅舎整備を推進するとともに、県・市一体となった事業の展開を図られたい。
- 下水道事業については、業務の拡大に即した人的体制の充実を図るとともに、積極的な予算措置を講じ、普及率の向上に努められたい。

総括質問

主な質問項目

- 女性行政について
- 議会と行政について
- 市民サービスの向上について
- 首都圏直下型地震にどう備えるか
- 千葉福祉村構想について
- 高齢者保健福祉計画について
- 新港清掃工場の移転と幕張C地区について
- EM（有効微生物群）技術の応用について
- 郷土博物館の内容充実について
- 史跡整備と保護対策について

千葉市の
四・季・の・花
春・ハナナ（ナノハナ）

お知らせコーナー

傍聴のご案内

本会議は、原則として公開していますので、どなたでも傍聴することができます。

傍聴される方は、本会議の当日、議事堂棟一階の受付で、手続きをお願いします。

平成六年第二回定例会は、六月七日から開会する予定です。

点字版とテープ版を発行

本号（No.4）から、目のご不自由な方に、市議会の活動をお知らせするため、「ちば市議会だより」の点字版とテープ版を発行することになりました。

配布先については、既に「ちば市政だより」の点字版とテープ版に登録されている方ですが、もし、登録されていない方で、配布を希望される方がいらっしゃいましたらご連絡をください。

編集後記

一月末に南国・沖縄をスタートした桜前線は、およそ二ヵ月かけて千葉市にやって参りました。

満開の桜の木の下で、皆様も瞬時ですが、この春一番の風情を楽しんだことと思います。

今年は二十五年ぶりの大雪に見舞われるなど、私たちも桜の花と同様、暖かくなるのを辛抱強く待っていました。総身を薄桃色の衣で包んだその姿を見せた時、私たちの目にはより一段と鮮やかに映りました。

古来より日本人に親しまれてきた桜、日本の花の代名詞として外国まで知られる桜、私たちの心に豊かさと楽しさを与えてくれる桜、そして可憐な花びらを落としてもなお趣を残している桜に、景気浮揚の願いを込めて…表紙から。

お読みになりまして、お気付きの点がありましたら、ご意見、ご感想をお聞かせください。

「ちば市議会だより」発行委員会
連絡先　議会事務局・調査課
☎二四五・五四七二

次号「ちば市議会だより No.5」では、平成六年第二回定例会の様子をお知らせいたします。

～市議会のしくみ❹～ 請願と陳情

請願は、憲法により国民の基本的人権の一つとして保障されている請願権に基づくもので、国会または地方議会などに、所管する事項について、一定の措置を希望し、申し出るものです。

陳情は、請願とは異なり法律上保障されたものではありませんが、国会または地方議会などに、一定の事項について利害関係のある人が、その実情を訴えて、相当の措置を要望するものです。

請願書は、一人以上の議員の紹介が必要ですが、陳情書は、議員の紹介がなくても提出できます。提出は、いつでも、議長あてにできますが、所管の委員会に付託するため、そのつど、締切日を設けています。

従来は、定例会が招集される六日前までに提出されたものを、付託していましたが、今回、改正により、議会開催中の最終の議会運営委員会が開かれる二日前までに提出されたものも、所管の委員会に付託し、閉会中に審査することができるようになりました。

また、陳情については、委員会限りの審査結果を、陳情者へ通知することになりました。

問い合わせ先
議会事務局・議事課
TEL.245-5469